



・・・東林地区・・・

東林地区は、住宅地や商業地として発展する一方で、公園や緑地が点在しており、市民の憩いの場も充実しています。また、毎年夏に開催される「東林間サマーわぁ！ニバル」は、10万人以上の来場者を迎え、阿波踊りの踊り手と観客で埋め尽くされます。

東林地区優秀賞



【撮影者】中山 瑞雄

【タイトル】春の松枝公園

【撮影場所】松ヶ枝公園

【コメント】花卉の中を疾走するロマンスカー。春になると撮りにくる風景です。

○審査員寸評○

満開の桜のもと、ベンチでくつろぐ人、そこに通過する電車。撮影者はこの時を待っていたに違いありません。いくつもの要素が上手く絡み合って春の公園での雰囲気を作り上げています。どんな写真を撮りたいのか、始めからしっかりと決めて撮影に臨んでいる姿勢が分かります。

【撮影者】坂上 和正

【タイトル】オダサガの春

【撮影場所】松ヶ枝公園

【コメント】小田急相模原駅の近くにある”松ヶ枝公園”。冬は日溜まり、夏は木陰がたっぷり。駅周辺のオアシスです。今日は保育士にお姉さんに見守られながらチビっ子達が元気いっぱい花びらのカーペットの上を走り廻っていました。かなり広い公園なので密になる心配なし。



「第10回 南区私のイチ押し写真」
応募作品発表



【撮影者】川村 和広
【タイトル】春爛漫
【撮影場所】相模原市南区松が枝町
【コメント】快晴の青空の下、線路脇の満開の桜の下を新型通勤電車が颯爽と通り過ぎました。

【撮影者】神代 秀男
【タイトル】阿波踊り
【撮影場所】東林間商店街通り
【コメント】添付の写真は3年前に撮ったものです。コロナの蔓延により東林間の「阿波踊り」も中止になり早3年になりました。いたし方のないことですが、来年こそは復活することを、各チームの方は待ち遠しく望んでいらっしゃると思います。来年の夏の夜の2日間を、私も楽しみに待っています。



【撮影者】神代 秀男
【タイトル】ヒガンバナ
【撮影場所】東林ふれあいの森
【コメント】東林ふれあいの森は、近隣の人たちのまさしく散歩・そして憩いの場所として皆さんがご利用されている明るくて、散歩道が整備された森です。区の方々のご努力で、四季折々の草花や木の実など元気に育ち私もいつもリフレッシュさせてもらっています。この写真は10月1日に撮りました。日陰の場所で今が一番のようで、日が差し込んだ時に撮りました。



【撮影者】加藤 英彦

【タイトル】松ヶ枝の春

【撮影場所】松ヶ枝公園（東林地区）

【コメント】毎年春になると松ヶ枝公園はぐるっと満開の桜で囲まれ、空が見えないほどになる。隣を小田急線が走り、小田急相模原駅があり、駅近の高層ビルをが顔を出している。自然と調和して南区一番の下町が発展している。



【撮影者】後藤 洋子

【タイトル】深堀の桜達

【撮影場所】上鶴間

【コメント】毎年見事に咲く深堀スポーツグラウンドの桜と溢れんばかりに咲き誇るユキヤナギは本当に見事。写真ではユキヤナギの量？の多さがでていませんが、桜とほぼ同じ距離咲いていて、私は勝手に「ユキヤナギロード」と名付けています。ユキヤナギの白とレンギョウの黄色と桜のピンクの3色コラボが綺麗に揃う年はなかなかないのですが、この年は見事な3色を見ることができました。四季の移り変わりを感じられる大好きな場所です。

【撮影者】薄葉 悟至

【タイトル】踊る

【撮影場所】東林地区

【コメント】毎年、家族で楽しみにしていた「サマーわあ！ニバル」。コロナ禍で開催中止が続き我が家の「いつもの夏」が来年こそはくる事に期待しています！

